

中山忠光

【なかやまただみつ】

(1845-1864) 幕末の尊攘派の公家。忠能(ただやす)の子。1863年天誅組の首領に推され大和五条に挙兵したが、諸藩の追討軍に敗れて、長州に脱出、暗殺された。

- 幕末辞典 -